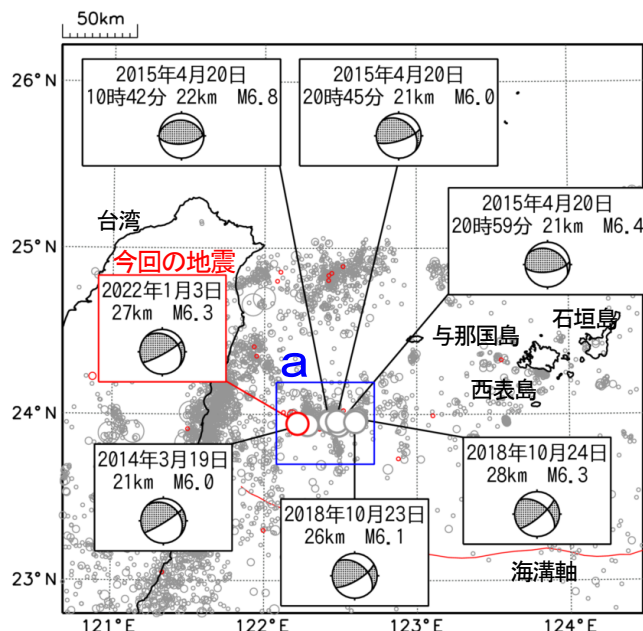


1月3日 台湾付近の地震

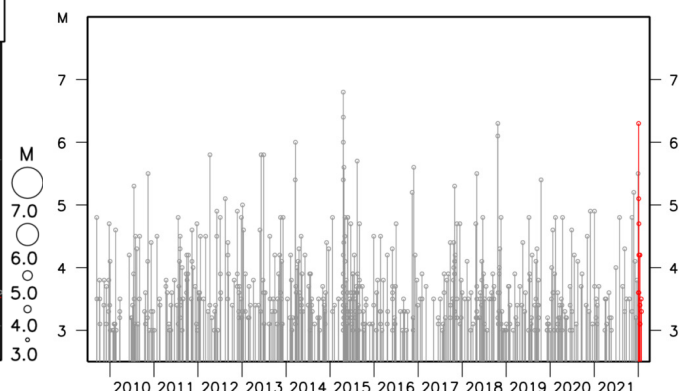
震央分布図
(2009年9月1日～2022年1月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2022年1月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



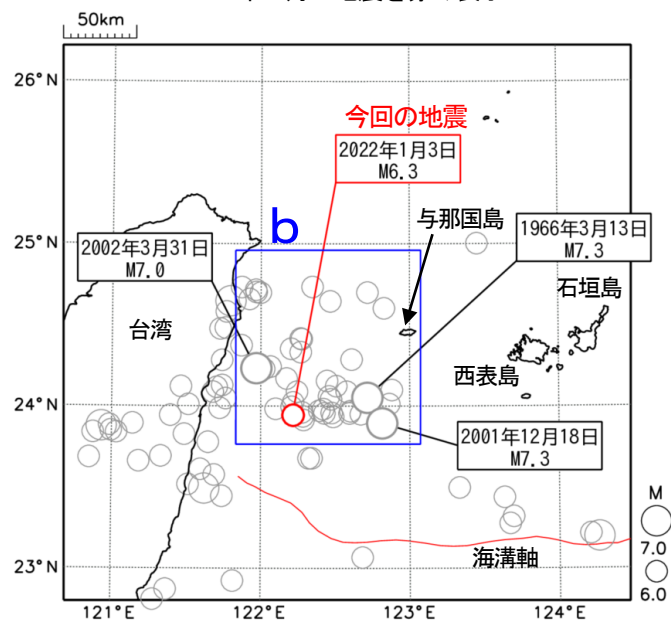
2022年1月3日18時46分に台湾付近の深さ27kmでM6.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2015年4月20日10時42分にM6.8の地震（最大震度4）、同日20時45分にM6.0の地震（最大震度3）、同日20時59分にM6.4の地震（最大震度2）が発生している。

領域a内のM-T図

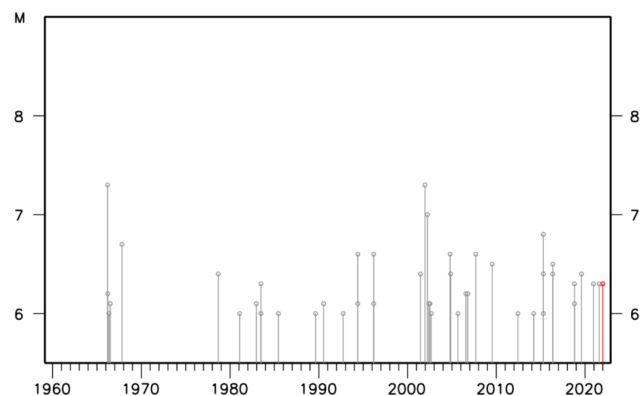


震央分布図
(1960年1月1日～2022年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2022年1月の地震を赤く表示



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1966年3月13日に発生したM7.3の地震（最大震度5）では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生した（被害は、「日本被害地震総覧」による）。また、2001年12月18日に発生したM7.3の地震（最大震度4）では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測している。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)